

## ハイハイプロジェクト実施報告書

- 1 実施日 平成26年12月8日(月)、9日(火)
- 2 実施団体 宮城県東部保健福祉事務所(石巻保健所)
- 3 会場 宮城県女川町地域保健センター  
女川町子育て支援センター(地域保健センター内に併設)
- 4 内容 乳幼児運動発達支援研修会(10月の研修と同内容)  
からだ作り教室(親子)
- 5 参加者数 研修会 12名  
からだ作り教室 保護者12名、子ども17名
- 6 冊子配布 「ハイハイのすすめ」 25部

### 実施内容

女川町は、震災で死亡または行方不明の方が10人に一人という地域で、震災後子ども達の体力低下が問題化しているということであった。

今回の女川町での研修会は、前回10月に行った研修会に出席した職員の復命書を見た保健師が、ぜひ乳幼児に関わる職員、スタッフ全員に聞いてもらいたいということで実施された。

#### 1 研修会(10月と同内容)

##### ・乳幼児の現状

私が見てきた現状を話し、石巻における保健師さん、保育士さんが感じている現状を話し合い、共通認識した上で、現場で何ができるかのヒントを持ち帰ってもらえるようにした。

- ・体力の基本の“き”について
- ・赤ちゃんの発達
- ・発達支援のポイントと効果
- ・幼児の体力向上の方法
- ・現場で感じた大切なこと

最後に、専門職がその時期にそのタイミングで必要なポイントを伝えてくれることが発達を促すうえで重要であり、行政の専門職が伝えることで地域のほぼ全員の子どもに伝えられるということ。そして、再学習できることを強調し、今の現場の環境で何ができるか?どんな工夫ができるか?を考えてほしいことを強調し伝えた。

#### 2 からだ作り教室(子育て支援センターで親子対象)

子育て支援センターに集まった親子に対して実施

- 赤ちゃんの運動発達、ハイハイの大切さなど保護者にミニ講話
- 乳幼児の運動、親子体操

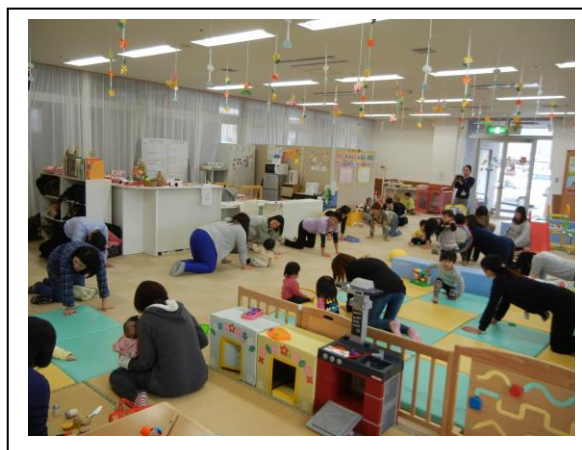
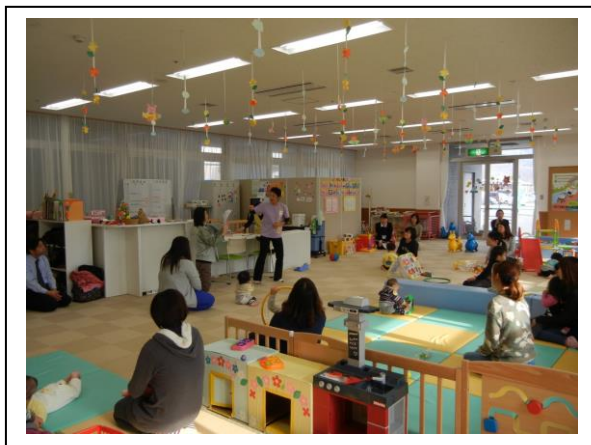
0歳から2歳児までいたので、赤ちゃんには発達を促す体操、幼児は保護者と一緒に運動遊びなどを行った。

○ ハイハイ相談

個別の相談、指導の実施。

○ ママの体操

骨盤体操、胸を開く体操などを行った。(頑張っているママたちが笑顔でいるために)



## 【所感】

### ○研修会

前回の研修会を受けて、全員のスタッフが同じ話を聞きたいと言って下さったことが大変嬉しかったと同時に、それだけ深刻であり真剣に取り組んでいることを強く感じた。

市町村の保健師は、地域の子ども全員の成長に関わります。その保健師が現状で何ができるかを考え実行していくきっかけを見つけてくれることを願う。

また、保健所（県の保健師）が市町保健師をサポートしていることも素晴らしいと思った。

### ○子育て支援センターでのからだ作り教室

ハイハイが上手くできないお子さんもいたが、やり直しができるお話しをして遊びの中で補ってほしいことを伝えた。

発育発達の運動は「やり直しできる」ことが分かれると安心されるようです。

また、ママたちは日頃頑張っていて、自分の体のことは後回しになりがちのため、骨盤体操や胸を開く体操など簡単な体操を行った。「気持ちがいい」という声があった。スタッフによると、帰る時のママたちの表情がいつもより明るかったようだ。

支援センターの保育士さん方も、ハイハイの促し方や赤ちゃんの体操のポイントなど参考にさせていただけたらと思う。

どこの地域でも同じであると思うが、本当に聞いてほしい保護者は支援センターなどには来ないのが悩みである。

しかし、乳児健診はほぼ全員が来るので、そこで支援センターの紹介とふれあい遊びなど保育士が関わっている糸魚川市の事例を話した。（女川町は保健センターと子育て支援センターが同一施設内にあるので、実施しやすい環境かと思う）

研修で聞いただけでは現場にどのように使っていくかイメージしづらいかもしいないが、実際現場で指導を行うことで関わり方が分かりやすいと思うので、今後も現場での指導もできるようにしていきたいと思う。

平成 26 年 12 月 29 日

報告者 樋口和子